

高齢者医療費2倍化法案は廃案に

県社保協が宣伝行動

75歳以上の高齢者の医療費窓口負担を2倍に引き上げる健康保険法改定案が5月7日、衆議院厚生労働委員会で採決され、衆議院本会議で採決後、参議院に送付されることになりました。衆議院でのわずかの議論でも多くの問題点が明らかになる中で採決強行は許されません。参議院での廃案をめざし、高齢者の負担増は許さないの世論を盛り上げましょう。

菅政権が今国会での成立を狙う高齢者医療費2倍化法案（健康保険法等改定案）と病床削減推進法案（医療法等改定案）。新型コロナウイルスの感染拡大で医療提供体制が危機的状况に陥っているにもかかわらず、国民の医療を受ける権利を制限し、医療危機をますます加速させる医療破壊の法案です。

岡山県社保協は4月16日、法案の成立を阻止しようと、岡山駅頭での宣伝・署名行動に取り組みました。県社保協の構成団体より10人が参加しました。

療費窓口負担に2割を初めて導入することが柱。単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯で同320万円以上を対象にし、約370万人が負担増となる。すでに『現役並み』所得で3割負担の人を合わせると75歳以上のほぼ3人に1人が2割



4/16 岡山駅西口で行った宣伝行動の様子。マスクが報道しなこともあって、75歳以上の高齢者の窓口負担2倍化についてはほとんど知られていない。

以上の負担を求められる。収入は限られるのに、病气やけがをしやすく受診機会が増えざるをえない75歳以上への影響は計り知れない」などと訴えました。

いまコロナ禍の下で医療崩壊・病床ひっ迫が指摘されていますが、マスクミはこの2法案についてはほとんど報道していません。署名、チラシ等を活用して、世論と運動を急速に広げ、2法案を廃案に追い込むことが必要です。

県社保協ニュース

発行：岡山県社保協 2021年 5月 10日 (20—05号)
岡山市北区下伊福西町1-53 (TEL：086-255-1140)

5月7日、衆議院厚生労働 委員会で強行採決

県社保協第28回総会

- ◆8月21日(土)
14:00~16:30
- ◆西川原プラザ

記念講演

◆芝田 英昭先生

右記の日程で岡山県社保協第28回総会を開催します。記念講演はオンラインになります。